

田んぼをキャンバスに、地域をひとつに

未来へつなぐ 田んぼアート菊川の挑戦

問い合わせ：商工観光課商工観光係 ☎35-0936

赤、黄、紫など色の異なる古代米を植え分け、水田を巨大なキャンバスに見立てて絵や文字を描き出す「田んぼアート」。

菊川市では、地元住民や市観光協会、JA遠州夢咲などで組織する「田んぼアート菊川実行委員会」が中心となり、毎年趣向を凝らした作品を制作しています。

2008年に始まったこの取り組みは、今年で19回目。実行委員会や地域の皆さんが力を合わせて植えた一株一株の稲が、やがて大きな一枚の絵となり、多くの人を魅了しています。

その風景には、地域を盛り上げたいという想い、訪れた人に楽しんでほしいという願い、そして次の世代へ活動をつないでいきたいという未来への希望が込められています。

今回は、田んぼアートができるまでの過程を紹介する他、これまでの歩みを振り返り、第1回から活動を支えてきた実行委員会メンバーに、19年間の想いとこれからの挑戦について聞きました。



田んぼアート菊川実行委員会

住所：菊川市下内田4261-1付近

問い合わせ：090-2615-8768(小池)、090-1981-6533(戸塚)

△ホームページ

△Instagram

©えーでるわいす／「天穂のサクナヒメ」製作委員会 ©えーでるわいす／TOHO CO., LTD.

